



発行
日蓮聖人門下連合会
〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181
http://nichiren-monka.org/

平成30年2月16日
第57号

「日蓮聖人御降誕八〇〇年記念慶讃事業」活動報告1

『門連だより第五十五号』でもすでにご報告の通り、日蓮聖人門下連合会では平成三十三年二月十六日にお迎えする「日蓮聖人御降誕八〇〇年」に向け、複数の事業に取り組んでいる。

また、昨年七月七日に開催された身延理事会にて「御降誕八〇〇年慶讃事業実行委員会」が正式に発足し、現在二十数名の委員により活発な活動がなされている。

今号ではその中の主な四つの事業について、現況を報告したい。

①機関紙『門連だより合本』
昨年十月十三日、記念慶讃事業の先駆けとして、『門連だより合本』（創刊号〜第五十号）を刊行し、加盟教



門連だより合本

原寸大での制作・製本が難しいと言われた中、株式会社光邦に編集・製本・発送とご尽力いただき、刊行を無事迎えるこ

団や門連関係者、宗門大学等の関係機関へ配布した。

また、合本データはデジタル化し、門連ホームページにも掲載している。

『門連だより』は昭和六十一年四月二十八日に創刊号が発行され、その後、主に年二回のペースで刊行。刊行当初は白黒であった紙面も第三十四号（平成十八年十月十三日刊行）よりフルカラーに一新し、平成二十六年十月十三日に第五十号の節目を迎えた。

創刊から二十八年間の当会を取り巻く環境や歴史などを一望することができるため、歴史資料の制作・保存の意味もあった。

なお、制作にあたり、法華宗（本門流）宗務院と展転社より紙面原稿提供の協力をいただき、また、

原寸大での制作・製本が難しいと言われた中、株式会社光邦に編集・製本・発送とご尽力いただき、刊行を無事迎えるこ

とができた。

②門下連合会ホームページ

門下連合会ホームページは半年以上の準備を経て、昨年十月二十六日に開設された。ホームページは現在、「門下連合会」とは「宗派一覽」「お知らせ」「刊行物」という四つのカテゴリーで構成されている。

「門下連合会とは」では、当会の設立の目的や活動内容、発足から現在までの年表を掲載し、広く門下連合会を知っていただける内容となっている。

「宗派一覽」では、門連加盟の十一団体の紹介ページが設けられており、寺院数等の情報が掲載され、「お知らせ」には、行事や会議など

の情報を随時掲載している。ネット社会の今、各教団のウェブサイトが相互リンクさせて情報を共有し、多くの方に門下連合会からの情報を発信していけるよう、ホームページのより一層の充実を目指している。

【URL】<http://nichiren-monka.org/>



門下連合会ホームページ

魅了され、全国行脚に大きな期待が寄せられた。嵐氏は「日蓮聖人第七百遠忌」の際、特別記念企画「日蓮劇」の主演を昭和五十四年から約三年

どの情報を随時掲載してく予定である。

「刊行物」には、『門連だより』創刊号から最新号までを掲載し、また、『門連だより合本』や『日蓮聖人門下連合会五十年の歩み』という記念誌のデジタルデータも掲載している。刊行物の一部では文字検索も可能となっており、情報収集にも役立つようになっていく。

ネット社会の今、各教団のウェブサイトが相互リンクさせて情報を共有し、多くの方に門下連合会からの情報を発信していけるよう、ホームページのより一層の充実を目指している。

【URL】<http://nichiren-monka.org/>

昨年十一月二十八日、当会主催による元・前進座の看板俳優 嵐圭史氏の一人数語「日蓮さまのお心に聴こう」お披露目公演が東京大田区にある日蓮宗宗務院講堂で開かれた。当日は約八十名が聴聞し、俳優の朗読や演技に多くの参加者が魅了され、全国行脚に大きな期待が寄せられた。

嵐氏は「日蓮聖人第七百遠忌」の際、特別記念企画「日蓮劇」の主演を昭和五十四年から約三年

つとめるなど、当会とも深い縁を持っている。

現在、全国の寺院や団体からの公演依頼を受け付けており、本年も複数の寺院での公演が決定している。

全国行脚は、平成三十四年までの期間限定で行われる予定である。

なお、公演は地域単位や複数寺院での共同開催、一寺院での単独開催なども可能であり、時間や場所なども要望に合わせて、多くの檀信徒・未信徒に日蓮聖人の御遺文の魅力を身近で感じてもらえるような内容となっている。

お問い合わせは、株式会社 圭史企画（TEL 〇三―五九〇三―八八六八）、また

その準備として、本年五月から六月頃に実行委員による現地下見を実施し、翌平成三十一年五月から六月頃に門下全体での草堂寺団参を検討している。また、多くの方が参加でき、門下の交流を深められる団参内容を企画したいと考えている。

なお、詳細については現地下見終了後に報告させていただきます。

◆また「現在の憲法」について、「人類の生きていく道は、平和に暮らすこと、争いをしないこと、これだけを仏様の教えによって習いきわめて、現在の憲法を宗教的信念によって持たねばなりません。南無妙法蓮華経と唱えて、この憲法を守ります」とのお言葉もいただいております。

◆百一歳で遷化なされた日蓮山主は、「戦争を想定すれば、今の時代では、どこに爆弾が飛んで来るかわかりません。その危険があるというならば、日本国中全部、爆弾よけの準備をしなければなりません。すべての国民全部、戦争体制に入れば、日本国は安穩か。安穩でなかった事例を私は知っております。それは明治以来の日本の軍国主義であります。今、人類が平和を求めるといふならば、戦争をしないことを前提にして、そこに我々は、日々努めていかなくてはなりません」と獅子吼なされました。

◆私たちが日本山妙法寺が、一九五八年から毎年行っております二ヶ月間の東京・広島・平和行進で南無妙法蓮華経と唱え、団扇太鼓を撃って、「私たちの一人ひとりの一歩一歩の歩みと祈りで、我が心の思いあがりという曇りを払い除け、人の生命を尊び、人の苦悩を悲しむ慈悲の心を起こさしましょう」と祈り訴え、歩き続けております。

◆今年も恩師のお言葉をいただき、八月六日の広島、八月九日の長崎に向けて歩き続けます。（日本山妙法寺僧侶 武田隆雄）



は、日蓮聖人門下連合会事務局（e-mail:nichiren@nichiren.or.jp）まで。

④中国 草堂寺結集

中国・西安にある草堂寺は、『妙法蓮華経』を鳩摩羅什三蔵が漢訳されたと伝わる聖地であり、鳩摩羅什三蔵の墓地もある特別な地である。

日蓮聖人は法華経の行者としてお題目を弘めるにあたり、鳩摩羅什訳の『妙法蓮華経』を拠り所とされてきたのはご承知の通りである。鳩摩羅什は数多くの経典を漢訳しているが、我々が普段拝読する『妙法蓮華経』は鳩摩羅什あつてのものであり、日蓮聖人にとってもその存在が大きい。

日蓮聖人にとって不可欠な存在であった鳩摩羅什三蔵の遺徳を偲び、また、縁あるその地を多くの門下が訪れて顕彰し、記念法要をすることが企画の趣旨である。

その準備として、本年五月から六月頃に実行委員による現地下見を実施し、翌平成三十一年五月から六月頃に門下全体での草堂寺団参を検討している。また、多くの方が参加でき、門下の交流を深められる団参内容を企画したいと考えている。

なお、詳細については現地下見終了後に報告させていただきます。

◆また「現在の憲法」について、「人類の生きていく道は、平和に暮らすこと、争いをしないこと、これだけを仏様の教えによって習いきわめて、現在の憲法を宗教的信念によって持たねばなりません。南無妙法蓮華経と唱えて、この憲法を守ります」とのお言葉もいただいております。

◆百一歳で遷化なされた日蓮山主は、「戦争を想定すれば、今の時代では、どこに爆弾が飛んで来るかわかりません。その危険があるというならば、日本国中全部、爆弾よけの準備をしなければなりません。すべての国民全部、戦争体制に入れば、日本国は安穩か。安穩でなかった事例を私は知っております。それは明治以来の日本の軍国主義であります。今、人類が平和を求めるといふならば、戦争をしないことを前提にして、そこに我々は、日々努めていかなくてはなりません」と獅子吼なされました。

◆私たちが日本山妙法寺が、一九五八年から毎年行っております二ヶ月間の東京・広島・平和行進で南無妙法蓮華経と唱え、団扇太鼓を撃って、「私たちの一人ひとりの一歩一歩の歩みと祈りで、我が心の思いあがりという曇りを払い除け、人の生命を尊び、人の苦悩を悲しむ慈悲の心を起こさしましょう」と祈り訴え、歩き続けております。

◆今年も恩師のお言葉をいただき、八月六日の広島、八月九日の長崎に向けて歩き続けます。（日本山妙法寺僧侶 武田隆雄）

從地ゆじゅつ

◆昨年、三十三回忌を迎えられた恩師日本山妙法寺藤井日蓮山主の「文明」についてのお言葉があります。

◆「文明とは、電灯のつくことでもない。飛行機のあることでもない。原子爆弾を製造することでもない。文明とは、人を殺さぬことであり、物を壊さぬことであり、戦争をしないことであり、相互に親しむことであり、相互に敬うことである。」

◆また「現在の憲法」について、「人類の生きていく道は、平和に暮らすこと、争いをしないこと、これだけを仏様の教えによって習いきわめて、現在の憲法を宗教的信念によって持たねばなりません。南無妙法蓮華経と唱えて、この憲法を守ります」とのお言葉もいただいております。

◆百一歳で遷化なされた日蓮山主は、「戦争を想定すれば、今の時代では、どこに爆弾が飛んで来るかわかりません。その危険があるというならば、日本国中全部、爆弾よけの準備をしなければなりません。すべての国民全部、戦争体制に入れば、日本国は安穩か。安穩でなかった事例を私は知っております。それは明治以来の日本の軍国主義であります。今、人類が平和を求めるといふならば、戦争をしないことを前提にして、そこに我々は、日々努めていかなくてはなりません」と獅子吼なされました。

◆私たちが日本山妙法寺が、一九五八年から毎年行っております二ヶ月間の東京・広島・平和行進で南無妙法蓮華経と唱え、団扇太鼓を撃って、「私たちの一人ひとりの一歩一歩の歩みと祈りで、我が心の思いあがりという曇りを払い除け、人の生命を尊び、人の苦悩を悲しむ慈悲の心を起こさしましょう」と祈り訴え、歩き続けております。

◆今年も恩師のお言葉をいただき、八月六日の広島、八月九日の長崎に向けて歩き続けます。（日本山妙法寺僧侶 武田隆雄）

◆また「現在の憲法」について、「人類の生きていく道は、平和に暮らすこと、争いをしないこと、これだけを仏様の教えによって習いきわめて、現在の憲法を宗教的信念によって持たねばなりません。南無妙法蓮華経と唱えて、この憲法を守ります」とのお言葉もいただいております。

◆百一歳で遷化なされた日蓮山主は、「戦争を想定すれば、今の時代では、どこに爆弾が飛んで来るかわかりません。その危険があるというならば、日本国中全部、爆弾よけの準備をしなければなりません。すべての国民全部、戦争体制に入れば、日本国は安穩か。安穩でなかった事例を私は知っております。それは明治以来の日本の軍国主義であります。今、人類が平和を求めるといふならば、戦争をしないことを前提にして、そこに我々は、日々努めていかなくてはなりません」と獅子吼なされました。

◆私たちが日本山妙法寺が、一九五八年から毎年行っております二ヶ月間の東京・広島・平和行進で南無妙法蓮華経と唱え、団扇太鼓を撃って、「私たちの一人ひとりの一歩一歩の歩みと祈りで、我が心の思いあがりという曇りを払い除け、人の生命を尊び、人の苦悩を悲しむ慈悲の心を起こさしましょう」と祈り訴え、歩き続けております。

◆今年も恩師のお言葉をいただき、八月六日の広島、八月九日の長崎に向けて歩き続けます。（日本山妙法寺僧侶 武田隆雄）

◆また「現在の憲法」について、「人類の生きていく道は、平和に暮らすこと、争いをしないこと、これだけを仏様の教えによって習いきわめて、現在の憲法を宗教的信念によって持たねばなりません。南無妙法蓮華経と唱えて、この憲法を守ります」とのお言葉もいただいております。

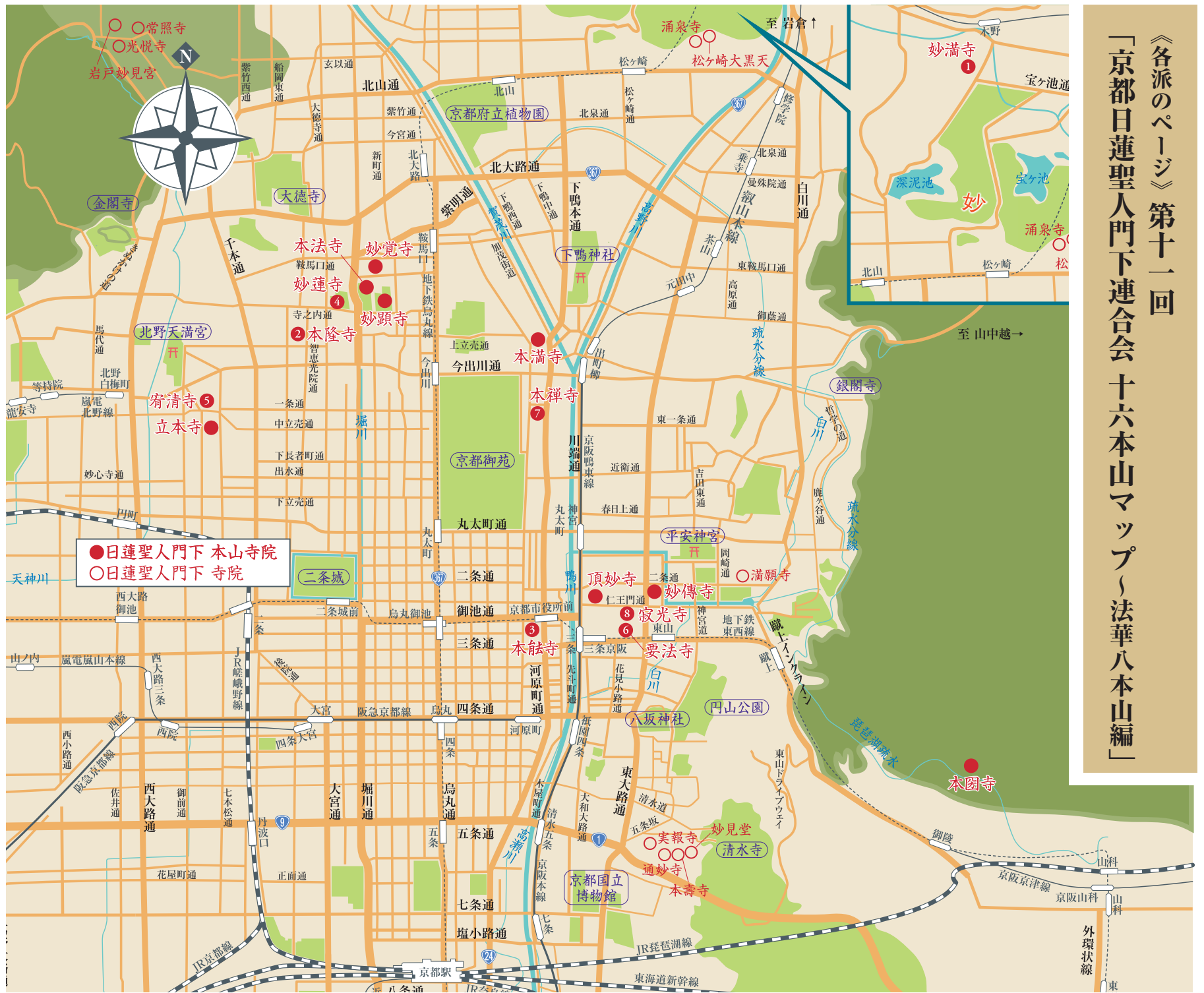
◆百一歳で遷化なされた日蓮山主は、「戦争を想定すれば、今の時代では、どこに爆弾が飛んで来るかわかりません。その危険があるというならば、日本国中全部、爆弾よけの準備をしなければなりません。すべての国民全部、戦争体制に入れば、日本国は安穩か。安穩でなかった事例を私は知っております。それは明治以来の日本の軍国主義であります。今、人類が平和を求めるといふならば、戦争をしないことを前提にして、そこに我々は、日々努めていかなくてはなりません」と獅子吼なされました。

◆私たちが日本山妙法寺が、一九五八年から毎年行っております二ヶ月間の東京・広島・平和行進で南無妙法蓮華経と唱え、団扇太鼓を撃って、「私たちの一人ひとりの一歩一歩の歩みと祈りで、我が心の思いあがりという曇りを払い除け、人の生命を尊び、人の苦悩を悲しむ慈悲の心を起こさしましょう」と祈り訴え、歩き続けております。

◆今年も恩師のお言葉をいただき、八月六日の広島、八月九日の長崎に向けて歩き続けます。（日本山妙法寺僧侶 武田隆雄）

◆また「現在の憲法」について、「人類の生きていく道は、平和に暮らすこと、争いをしないこと、これだけを仏様の教えによって習いきわめて、現在の憲法を宗教的信念によって持たねばなりません。南無妙法蓮華経と唱えて、この憲法を守ります」とのお言葉もいただいております。

◆百一歳で遷化なされた日蓮山主は、「戦争を想定すれば、今の時代では、どこに爆弾が飛んで来るかわかりません。その危険があるというならば、日本国中全部、爆弾よけの準備をしなければなりません。すべての国民全部、戦争体制に入れば、日本国は安穩か。安穩でなかった事例を私は知っております。それは明治以来の日本の軍国主義であります。今、人類が平和を求めるといふならば、戦争をしないことを前提にして、そこに我々は、日々努めていかなくてはなりません」と獅子吼なされました。



《各派のページ》第十一回
 「京都日蓮聖人門下連合会十六本山マップ」法華八本山編

1

顕本法華宗
総本山 妙満寺
 静かな境内で歴史を繋ぐ

日什大正師が康応元年(1389年)に開創。天正11年(1583年)から400年にわたって寺町二条に落ち着くが、昭和43年に喧騒をさけて現地へ移転。能・歌舞伎で知られる安珍・清姫伝説の鐘や「雪の庭」と呼ばれる庭園などが公開されている。

左京区岩倉橋町91 ☎075-791-7171 9:00~16:00
 境内自由。本堂・庭園・展示室拝観500円 Pあり
 叡山院馬場(本野)駅から徒歩5分
 京都バス(稲荷)「妙満寺」バス停から徒歩すぐ
 地下鉄丸太線「国際会館」駅から徒歩20分

2

本門法華宗 **大本山 妙蓮寺**

「臥牛石」を配した見事な石庭

日蓮聖人によって永仁2年(1294年)に創建。豊臣秀吉が寄進した名石「臥牛石」を中央に配した「十六羅漢石庭」は、桂離宮造園時に指示を行われた「妙蓮寺」の僧、玉淵坊日首上人の作。予約をすれば、収蔵庫も拝観可能。展示物の内容はお問い合わせを。

本門法華宗 **大本山 妙蓮寺**
 上京区寺之内通大宮東入ル妙蓮寺前町875
 ☎075-451-3527
 10:00~16:00 水・年末年始休
 境内自由。方丈・庭園拝観500円
 収蔵庫拝観は追加300円(要予約) Pあり
 市バス「堀川寺ノ内」バス停から徒歩3分
 地下鉄丸太線「今出川」駅から徒歩14分

法華八本山寺院紹介
 京都の十六本山のなりたち

日蓮聖人がご入滅される折、帝都開教の御遺命を受けられたのは孫弟子の日像上人でした。伝統的な仏教がすでに根付いた京都での弘通。弾圧を何度も受けながら、徐々に教えを広められました。戦国時代に入ると法華経信仰は急速に拡大。延暦寺と衝突した天文法難後は堺へ落ち延びますが、数年後は京都での復興を果たします。その後も弾圧を受けることはありましたが、法華経は着実に京都へ根付いていきました。そして現代、京都には十六の日蓮聖人門下の本山が息づいています。各寺院を巡って、重ねた歴史を感じてみませんか。

2

法華宗真門流 **総本山 本隆寺**

「焼けずの寺」の伝説が残る

日真上人が長享2年(1488年)に開創。江戸時代、二度の大火に遭いながらも本堂は焼失を免れた。「鬼子母神が人となり防火に勤めた」と伝説が残る「千代の井戸」も現存。明暦3年(1657年)再建当時の姿を残した本堂は、京都十六本山で最古のもの。

法華宗真門流 **総本山 本隆寺**
 上京区智恵光院通五辻上ル本隆寺前町330
 ☎075-441-5762
 6:00~18:00
 境内自由
 Pあり
 市バス「今出川(本隆寺)」バス停から徒歩3分
 地下鉄丸太線「今出川」駅から徒歩16分

5

本門佛立宗 **本山 宥清寺**

日蓮大士が開眼された最古の像を奉安

日禪上人が延慶元年(1308年)に開創。明治2年(1869年)には本門佛立宗の開導・日扇聖人によって佛立講の根本道場と定められる。本堂内部の御坐前には、日蓮大士が自ら開眼された最古の「日蓮聖人坐像」(非公開・国の重要文化財指定)が奉安されている。

本門佛立宗 **本山 宥清寺**
 上京区一条通七本松西入ル瀧ヶ崎町1005-1
 ☎075-463-4620
 5:00~18:00
 境内自由(本堂ほか拝観は事務所へ相談)
 Pあり
 市バス「北野天満宮前」バス停から徒歩3分
 嵐電北野線「北野白梅町」駅から徒歩10分

7

法華宗陣門流 **本山 本禅寺**

寺院を守る蔵づくり

日陣聖人が応永13年(1406年)に開創。天文8年(1539年)、後奈良天皇に召された日覺上人が宮中で法華経を講じられたことから勅願寺に定められる。本堂は現在地に至るまで4度の火災にあったことから、これ以上焼けないように漆喰の蔵づくりで再建された。

法華宗陣門流 **本山 本禅寺**
 上京区寺町通広小路上ル北ノ辺町394
 ☎075-231-8650(心城院)
 7:00~17:00
 拝観は要問い合わせ
 京阪東山線「出町柳」駅
 叡山本線「出町柳」駅から徒歩14分

3

法華宗本門流 **大本山 本徳寺**

苦難乗り越え7度の建立

日隆上人が応永22年(1415年)に開創。以来、度重なる戦乱や大火などによって5度の焼失、7度の再建を行った。歴史でも有名な事件「本徳寺の変」は4度目の再建後に勃発。永い歴史の中で守りぬいた宝物は境内の宝物館にて公開している。

法華宗本門流 **大本山 本徳寺**
 中京区寺町通地下下ル本徳寺前町522
 ☎075-231-5335 6:00~17:00
 境内自由 宝物館9:00~17:00 入館500円
 宝物館は展示入れ替え期間と年末年始休
 Pあり
 地下鉄東西線「京都市役所前」駅から徒歩すぐ

6

日蓮本宗 **本山 要法寺**

古の教え思づく根本道場

日興上人の付弟であった日尊上人が、延慶元年(1308年)帝都弘通の拠点として法華堂を開かれたことにはじまる寺院。それ以来、「教学の山」と「師範道場」の遺風を誇る根本道場として今日に至っている。また、古来より「松の寺」という異称も持つ。

日蓮本宗 **本山 要法寺**
 左京区法皇寺町448
 ☎075-771-3390
 9:00~17:00
 境内自由。室内拝観は要予約
 Pあり
 市バス「東山三奥」バス停から徒歩すぐ
 地下鉄東西線「東山」駅から徒歩5分

8

顕本法華宗 **本山 寂光寺**

囲基本因坊のふるさと

日淵上人が天正6年(1578年)に開創。2世の日海上人は開基の名人で、かつての塔頭の名をとり本因坊算砂の名を承られた。寺内では、本因坊ゆかりの開基にまつわる宝物や開基関係の資料を展示。予約すれば住職から寺歴や宝物のいわれについて、よりくわしい話が伺える。

顕本法華宗 **本山 寂光寺**
 左京区仁王門通大宮西入ル北門前町469
 ☎075-771-6962 9:00~16:00
 境内自由。団体拝観は要予約
 (本堂・宝物拝観は事前連絡がベター)
 Pあり
 市バス「東山仁王門」バス停から徒歩すぐ
 地下鉄東西線「東山」駅から徒歩9分

日蓮宗宗務院

管 長 内野日総 財務部長 木村吉孝
 宗務総長 中川法政 宗務総長室長 木内隆志
 伝道局長 塩田義徹 現代宗教研究所長 三原正資
 総務局長 松永慈弘 参 与 山口裕光
 伝道部長 松井大英 参 与 吉田顕綱
 教務部長 北山孝治 日蓮宗新聞社社長 渡邊義生
 総務部長 大場正昭

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
 電話 〇三(三七五)七一一
 FAX 〇三(三七五)七一八六
<http://www.nichiren.or.jp>

法華宗(本門流)宗務院

管 長 桃井日英
 宗務総長 二瓶海照
 総務部長 三吉廣明
 教学部長 清水常光
 布教部長 吉崎長生
 財務部長 久野晃秀
 企画部長 平田義生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一
 電話 〇三(五六一四)三〇五五
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

顕本法華宗宗務院

管 長 山本日恵
 宗務総長 島田幸晴
 宗務次長 秋葉敬真
 布教部長 早川義正
 財務部長 湯原純勇
 庶務部長 津村乗信
 社会部長 藤本智成
 教務部長 湯原正純

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七一七一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 門谷日悠
 宗務総長 西山英仁
 総務部長 牧野秀成
 教学部長 布施義高
 教化部長 松吉慶憲
 財務部長 金原孝宜
 企画部長 今井満良

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三五七六)〇一一一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 木村日覺
 宗務副総長 亀井日勲
 宗務副総長 西村日演
 教務局長 小西日事
 弘通局長 植田日将
 総務局長 小野山日盡
 広報局長 永江日秀
 財務局長 岡田日朗
 奉賛局長 藤本日唱
 センター特別局長 藤本日唱

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地
 電話 〇七五(四六一)一五六六
 FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日猷
 宗務総長 堀智泰
 総務部長 堀内浩善
 教学部長 峰尾泉栄
 教化部長 木田慧明
 社会部長 坂本法保
 財務部長 寺田良正
 参 与 木村完祥

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四一)五七六二
 FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗宗務院

宗務総長 香川日憲
 総務部長 増田隆雄
 宗務部長 吉村日彦
 財務部長 高邊晶啓
 教務部長 山下揮正
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区寺之内通大倉東大本山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主 田中壮谷
 理事長 原田義彦
 門連理事 森山真治
 門連常任理事 藤本坦孝
 門連理事 的場春奈
 編集委員

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八
 電話 〇三(三五六)七二二
 FAX 〇三(三五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

日本山妙法寺大僧伽

首 座 吉田行典
 責任役員 酒迎天信
 同 今井行康
 同 池田行朗
 同 二宮和嘉
 同 木津博充
 同 川岸行孝

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四六一)九三六三
 FAX 〇三(三四六一)九三六七

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 桃井日英
 副 会 長 伊丹日章
 理 事 長 佐藤泰慎
 副 理 事 長 橋本一妙

京門連事務局
 〒604-8091 京都市中京区寺町通御池下ル
 電話 〇七五(二三二)五三三五
 FAX 〇七五(二二二)二八三八

大阪日蓮聖人門下懇話会

理 事 長 佐藤哲夫 問 藤村恵容
 副 理 事 長 佐野貫順 問 門谷光瑞
 顧 問 奥邨正寛 問 中村日游
 顧 問 木下恵温 問 東孝信

〒530-0051 大阪府大阪市北区大融寺町六一十二
 電話 〇六(六三六)七六六四
 FAX 〇六(六三六)七六六四

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 内野日総
総務 井上瑞雄

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰
執事長 金子元彦
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一一
電話 〇三(三七五)一三三三一
FAX 〇三(三七五)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 光長寺

貫首 原井日鳳
執事長 久保木学洋

〒410-0011 静岡県沼津市岡宮一〇五五
電話 〇五五(九二)〇四八四
FAX 〇五五(九二)〇七三六

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 山本日恵
総務 吉永義康
執事 中村英司
執事 湯原正純
執事 土持悠孝
執事 鹿野恒仁
執事補 足立幸謙

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九)七一一一
FAX 〇七五(七九)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

奉安門下最古一尊四土御本尊
門祖日陣尊聖人六百御遠忌
大法要厳修(六月二十一、二十四日)

貫首 門谷日悠
執事長 笹原壯玄

〒955-0845 新潟県三条市西本成寺一一一一二〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷
執事長 永岡悠希
執事 本多信正
執事補 笹木研吾
書記 矢放啓亮

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五七六二
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山
執事長 音羽隆全
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五二)三五二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

多寶富士山 本山要法寺

貫首 丹治日遠

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

本門佛立宗本山 宥清寺

住二十六世講有 高須日良
執事長 白石日是
事務局長 奥順作

〒602-8336 京都市上京区二条通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

会本・本山 本満寺 貫首 伊丹日章
大本山 本閉寺 貫首 伊藤日慈
大本山 妙顯寺 貫首 三田村日正
本山 立本寺 貫首 上田日瑞
本山 妙傳寺 貫首 野々垣日祐
本山 頂妙寺 貫首 安藤日瑛
本山 妙覺寺 貫首 及川日周
本山 本法寺 貫首 瀬川日照

京都 法華門流懇話会

顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 山本日恵
法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山
日蓮正宗 本山要法寺 貫首 丹治日遠
本門佛立宗 本山宥清寺 講有 高須日良
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫主 福井日進
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰

日蓮宗大本山 清澄寺

別当 二宮日敬
執事長 宮崎雅宣
役員一同

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二一一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七
団参には是非、研修会館をご利用ください。
一六〇名様まで可。

宗祖御降誕靈場 日蓮宗大本山 誕生寺

宗祖御降誕八百年に向かつての祈り

貫首 石川日命
執事長 角濱監鏡

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇九五)二六二一
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

日蓮宗霊跡本山比企谷 妙本寺

貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一一一五一
電話 〇四六七(二二)〇七七七
FAX 〇四六七(二二)六九六七

日興上人御聖廟 日蓮宗大本山 富士山法華本門寺根源

貫首 旭日重
執事長 川名義顕
参 与 吉田日綱
参 与 井野上正文

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五
電話 〇五四四(五八)一〇〇四
FAX 〇五四四(五八)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛
参 与 田代浩敬
参 与 植田観樹
参 与 松本慈恵
参 与 関観亮

〒272-0813 千葉県市川市中山二一一〇一
電話 〇四七(三三四)三三三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三一四八八
電話 〇三(三三三)六二四一
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗本山東身延 藻原寺

貫首 持田日勇
総務 増田寶泉
執事 富永一道
執事 中川貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一二〇〇一
電話 〇四七五(二二)三一五三
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺

除厄安産飯匙の祖師・七面大明神奉安

貫首 井上日修
執事長 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四一四二一五
電話 〇三(三八二)四三七三
FAX 〇三(三八二)七〇三三

平成三十三年二月十六日は
宗祖御降誕八百年を
迎えます



門連時報

京都理事会開催さる

昨年十月二十五日(水)、日蓮宗本山本満寺において、日蓮聖人門下連合会 京都理事会が開催され、全門連及び京都門連役員各聖、大阪門下懇話会理事長の五十一名が参列した。

午後一時、会場寺院である本満寺の伊丹日章貫首を導師に仰ぎ、副導師を京門連理事長 橋本一妙師、京門連副理事長 赤塚高明師とし、参加者一同が本堂に参列して法味を言上した。その後、会場を京都プライトンホテルへ移し、午後二時半、本満寺の沿革について伊丹日章貫首よりご講義いただいた。

午後三時半、小林順光理事長が座長となり理事会を開会し、事務局より上半期の事業報告がなされ、続いて京都門連、大阪門下懇話会よりそれぞれ活動が報告された。

また、平成三十三年二月十六日にお迎えする日蓮聖人御降誕八〇〇年記念慶讃事業について、事務局より進捗状況等が報告された。

理事会後の懇親会では、出席者同士が和やかな雰囲気の中、親睦を深め、活発な情報交換がなされた。

なお、本年の京都理事会は法華宗(本門流)大本山本能寺を会場として開催される予定である。

京都日蓮聖人門下連合会事業開催

お会式法要

十月八日、秋晴れのもと日蓮宗大本山本満寺に於いて宗祖御入滅七三六のお会式法要を執り行った。法要に先立ち京門連役員、門下青年会、檀信徒有志約二十名が出仕し市中唱題行脚を実施し、山科本満寺から旧粟田口刑場地跡に建つ日ノ岡お題目宝塔往復の約一時間力強く唱題行脚を行った。お題目宝塔前では、旧粟田口刑場地にて処刑された一万五千人の処刑者慰霊供養の回向がなされた。午後二時より大本堂で法華宗(真門流)総本山本満寺貫主上田日猷殿下の「お題目で覚醒を」という講題で人間の持つ慈悲の心や菩提心の真髄は自分だけではなく他の人の為に精一杯に尽くすことが大切であり、他の人に尽くす精神と共に南無妙法蓮華經の五字、七字をお唱えし自分たちの心の中に浄仏国土の顕現をより一層進めて



京都理事会
平成二十九年十月二十五日



大阪市北区の圓頓寺に於いて開催された。佐藤理事長導師のもと奉行され、多数の会員教師と檀信徒が列席した。法要後、妙政寺住職松井英光師による「合掌のこころ」と題した法話と、旭堂南麟師匠による講談「日蓮聖人 御一代記」が演じられた。

第二十八回研修会

当会は、昭和六十三年に日蓮聖人の教えを信奉する八教団の寺院・団体により発足し三十年になりました。そこで、昨年十二月十三日、日蓮宗 妙光寺に於いて大阪日蓮聖人門下懇話会三十周年特別研修会を開催しました。講師に、嵐圭史氏をお招きし「御遺文から紐解く大聖人の優しき姿」と題してお話をいただきと共に、嵐氏の主演作品「日蓮」の一場面や裏話も披露して頂きました。

本門法華宗

大本山妙蓮寺第百二十一世別所日山貫首晋山奉告法要

昨年十一月五日大本山妙蓮寺において、大本山妙蓮寺第百二十一世別所日山貫首晋山奉告法要を執り行いました。

当日は晴れやかなる秋空のもと、午後一時に本満寺様より出発。妙蓮寺山門に到着し、入山の儀が執り行われました。



門下各本山代表、日蓮聖人門下各聖を御来賓にお迎えし、大本堂において晋山奉告法要が奉修されました。

御宝前において別所日山貫首は、本山歴代譜を松本日望御閑士より拝受され、香川日憲総長より本門法華宗管長叙任状が授与され、奉告文、京門連福井日進現下、橋本一妙門連常任理事各聖代表献香、唱題と続き、法要は無事円成となりました。

午後五時から、会場を京都ホテルオークラに移して祝賀会が開催され、京門連福井日進現下、小林順光門連理事長御名代小林正雄上人より御祝辞を頂戴し、別所日山貫首の御挨拶、貫首現下・福井日進現下・桃井日英現下・小林正雄上人・二瓶海照台下・橋本一妙上人・田中社谷養主による鏡開き、祇園東叶家の皆様による祝舞があり、盛大に執り行われました。

▼人事(事務局への連絡日を含む)

年月日	氏名	宗派	門連役職	就任/退任
平成二九・一〇・二〇	功刀一晟	日蓮宗	幹事	就任
平成二九・一一・一〇	久永晃顕	法華宗(本門流)	理事	退任
平成二九・一一・一〇	吉崎長生	日蓮宗	理事	退任
平成二九・一一・一九	小林順光	日蓮宗	理事	退任
平成二九・一二・一九	小林正雄	日蓮宗	常任理事	退任
平成二九・一二・二〇	中川法政	日蓮宗	理事	就任
平成二九・一二・二〇	木内隆志	日蓮宗	常任理事	就任
平成二九・一二・二〇	伊丹日章	京都門下連合会	顧問	退任
平成三〇・一一・一一	橋本一妙	京都門下連合会	常任理事	退任
平成三〇・一一・一一	佐藤泰慎	京都門下連合会	常任理事	退任
平成三〇・一一・一一	赤塚高明	京都門下連合会	理事	退任
平成三〇・一一・一一	橋本一妙	京都門下連合会	理事	退任

大阪日蓮聖人門下懇話会事業開催

第二十五回合同御会式

合同御会式が昨年十一月三日、

ご家族と共に子孫に伝える信仰の証

日蓮宗全国五十七箇本山 御朱印めぐりセット

日蓮宗の本山五十七箇寺を巡り五十七紙の貫首さまの御首題に御朱印を拝受し巡る生涯忘れ得ぬ感動の旅を



※セット内容イメージ

監修 日蓮宗全国本山会

【セット内容】(箱入り)
 57本山貫首さまの御首題 57紙+白紙3枚 計60枚
 御首題携行帳 3帳(予備2帳)
 参拝案内カード 57種(最新地図・交通情報)
 手引書 1冊
 ※参拝のワンポイント・団参コース等の案内

頒価 2,160円 (税込・送料別)



頒価 3,240円
 【税込・送料別】

「全国五十七本山めぐり」完全対応・必携の書。

日蓮宗五十七本山の伝記と歴史の旅案内。幾星霜、信仰を支えてきた緑に映える伽藍の偉容、日蓮聖人とお弟子たちの歴史への旅案内。



各派・教団・短信

法華宗(本門流)

◆平成二十九年十二月十日、九日の二瓶内局任期満了に伴い、新たに第三次二瓶内局が発足。

◆新内局は二瓶海照宗務総長(富山市信行寺)、三吉廣明総務部長(世田谷区妙壽寺)、清水常光教学部長(尼崎市本成院)、吉崎長生布教部長(渋谷区立正寺)、久野晃秀財務部長(台東区本性寺)、平田義生企画部長(横浜市本光寺)の六名が就いた。

◆平成三十年二月二十八日

◆興隆学林専門学校の平成二十九年度卒業式が行われる。行学二道に励んだ学林での経験を糧に、卒業生は新たな布教の第一線に立つ。当校は他門流・一般信徒の入学生も受け入れ、現在通学中。平成三十年度の新入生を募集(※)。

◆三月七日、第三十一回法華宗教学研究発表大会(メルパルク京都)。本年は研究発表のほか、十年ぶりの受賞となる桂林学術賞の記念講演(藤村泰介師)と日蓮聖人の浄土観についての特別講演(山野俊郎先生)が計画されている。一般聴講可(※)。

◆四月十日、興隆学林専門学校入学式。

◆四月十一日、戦没者慰霊法要(千鳥ヶ淵墓苑)。

◆十月二日、三日の二日間にわたって、京都・総本山妙満寺において全国布教師研修会並びに布教師会総会が二日間に渡り開催された。研修会では、布教総監・河村日斌現下を講師に迎え、「日蓮聖人の宗旨につい

て」と題する講義と特命布教師・川崎英真師を迎え、「慶長法難以後の殉教先師たち」〜境地院日秀上人の法勲を中心に〜と題する講義がそれぞれ行われた。

◆十月十二日、京都・総本山妙満寺において初めて本宗寺院の住職に任命された僧員の奉誓式が執り行われた。本年は、本盛寺(千葉県長生郡白子町)住職・川崎英真師、正覚寺(千葉県東金市)住職・児玉常信師、東福寺(千葉県東金市)住職・児玉常優師、妙楽寺(京都府木津川市)住職・澤地真也師の四名が参列し、御宝前において誓願された。

◆十月二十二日、十月三十一日、宗祖日蓮大聖人御降誕八百年記念として、「インド仏跡巡拝と世界遺産を訪ねる旅」が行われた。僧員だけでなく檀信徒も参加し、共に現地に法要を行った。

◆十一月二十二日、京都・総本山妙満寺において西部地区の僧員研修会が開催された。河村日斌現下を講師に迎え、「日蓮聖人の宗旨について」と題する講義が行われた。

◆十一月二十八日、千葉・浄泰寺において東部地区の僧員研修会が開催された。教学研究所所長・窪田哲正師を講師に迎え、乗師「西谷名目条例」にまなぶ仏教用語の基礎、「六波羅蜜」についてと題する講義が行われた。

法華宗(陣門流)

◆九月四日、五日、宗内の全教師を対象とした中央行学講習会が愛知県豊橋市(東海地区)にて開催された。四日はホテルアソシア豊橋を会場とし、開講式の後、講義が行われた。第一講義は、学林教授、村上東俊先生より「釈尊の故郷をたどる」発掘調査の今昔と法華宗の貢献」と題して、お話を頂いた。また第二講義は、学林部長の布施義高先生より「門祖日蓮聖人の遺徳と慧眼」との講義でお話を頂いた。五日は豊橋市内の乗蓮寺、本門寺、法華寺の三寺院を参拝し、閉講式が行われた。今年も百名を超える参加者が集い、教

学を学ぶと共に一層の親睦を深めあった。

◆十月一日、雅楽練習会が宗務院において行われた。

◆十一月六日、布教研究所所報編集会議が宗務院において開催された。

◆十一月十六日、宗学研究所所員会が宗務院において開催された。

本門佛立宗

◆平成二十九年六月十三日、ブラジルで最大規模の大学、エスタシオ大学において佛立宗の信仰に関する講演が一般市民を対象に二時間にわたり行われた。講演者は福岡日雙師(神戸・香風寺)。講演は英語でなされ、これをポルトガル語に通訳者が訳して伝えるかたちで行われたが、約三百人の聴講者は時に感嘆の声をあげ、時に笑い声をたてながら熱心に聴き入った。

◆六月十八日にはサンパウロの文化ホールでも同様の講演会が開催され、大勢の聴講者で会場は賑わった。

◆本門佛立宗の第十九世講者・本山宥清寺第六十世住職・誕生寺第六世住職・講尊・梶本日商上人が、去る九月二日午後四時四十五分、ご老衰のため、ご遷化あそばされた。法寿九十五歳であった。これを受け、九月五日午前十一時より、講者・日良上人導師のもと、誕生寺葬が執行さ

れた。この発表会は、宗内全教師を対象に発表者を募集し、本宗の教学・教学史・教団史をはじめ、仏教学各分野や化学など、最新の研究成果を公表し合うために開催され、本年も十名の教師が発表し、参加者との活発な議論が交わされた。

◆十一月十六日、宗学研究所所員会が宗務院において開催された。

◆十一月十七日、学林教授会が宗務院において開催された。

◆十二月四日、五日、宗務院において新任職・学生・沙弥合同研修会が開講された。教学だけでなく、講師の体験を受けた布教活動の実践についての講義を受け、新住職は法話実修などを行い研鑽に励んだ。

本門佛立宗

◆平成二十九年六月十三日、ブラジルで最大規模の大学、エスタシオ大学において佛立宗の信仰に関する講演が一般市民を対象に二時間にわたり行われた。講演者は福岡日雙師(神戸・香風寺)。講演は英語でなされ、これをポルトガル語に通訳者が訳して伝えるかたちで行われたが、約三百人の聴講者は時に感嘆の声をあげ、時に笑い声をたてながら熱心に聴き入った。

◆六月十八日にはサンパウロの文化ホールでも同様の講演会が開催され、大勢の聴講者で会場は賑わった。

◆本門佛立宗の第十九世講者・本山宥清寺第六十世住職・誕生寺第六世住職・講尊・梶本日商上人が、去る九月二日午後四時四十五分、ご老衰のため、ご遷化あそばされた。法寿九十五歳であった。これを受け、九月五日午前十一時より、講者・日良上人導師のもと、誕生寺葬が執行さ

れた。この発表会は、宗内全教師を対象に発表者を募集し、本宗の教学・教学史・教団史をはじめ、仏教学各分野や化学など、最新の研究成果を公表し合うために開催され、本年も十名の教師が発表し、参加者との活発な議論が交わされた。

◆十一月十六日、宗学研究所所員会が宗務院において開催された。

◆十一月十七日、学林教授会が宗務院において開催された。

◆一月一日、八日、総本山本隆寺に於いて、年頭国持会・法華八講開催。

本門法華宗

◆九月九日、青年部会第一回研究会

◆十月十二日、大本山妙満寺(別所日山貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要を奉修。

◆十一月五日、大本山妙満寺第百二十一世貫首別所日山現下晋山奉告法要を大本山妙満寺に於いて奉修。

◆十一月十二日、大本山妙満寺に於いて御開山日像菩薩御報恩法要並びに三師会・歴代上人法要を奉修。

◆一月三十一日、青年部会第一回交流会。

◆本門法華宗学院(渡辺日恩学院)第百六十二回教学講習会を八月三十一日・九月一日、第百六十三回同講習会を十一月二十七日、八日、卯木講堂にて開講。

◆布教誌「生きる」第六十九号、信報「信行」第百八十八号を一月一日に発行。

◆海援隊の「閉巻録」や「漢論」、その詳細な解説を展示。同時に、海援隊を絶賛した幕末維新の仏教改革者・長松清風、鎌倉時代にデモクラシーの原型を示した世界的宗教家・日蓮の生涯や思想を紹介している。入場無料。

◆京都佛立ミュージアム・京都市上京区御前通一条上東区一〇

国柱会

◆十月一日、月報「信行」第百八十八号を一月一日に発行。

◆十一月一日、月報「信行」第百八十八号を一月一日に発行。

◆十二月一日、月報「信行」第百八十八号を一月一日に発行。

◆一月一日、月報「信行」第百八十八号を一月一日に発行。

◆二月一日、月報「信行」第百八十八号を一月一日に発行。

◆三月七日(水) 理事会(本能寺文化会館) 立教開宗会の件。

京都門下連合会

◆四月二十八日(土) 立教開宗会(比叡山横川定光院) 導師法華宗本山貫首現下、講師日蓮宗布教師、観光参拝。

◆五月中旬予定 門下本山会主催 当番法華宗本門流大本山本能寺。

◆八月二十五日(土) 第五十四回夏季大会(本能寺文化会館) 講師桃井日英現下(大本山本能寺貫首)その他講師未定。

◆同日 理事会(本能寺文化会館) 御会式の件。

◆十月十六日(土) 御会式(大本山本能寺) 導師桃井日英現下、講師日蓮宗本山貫首。

◆十月下旬予定 全門京都理事会(法華宗本門流大本山本能寺)。

◆十二月中旬予定 理事会(本能寺文化会館) 行事報告、会計報告の件。

◆十二月二十二日(土) 門下本山会主催会 当番日蓮宗本山本満寺。

◆本年は三月に北関東地区、四月に中四国地区、十月に近畿地区、十一月に九州地区で宗祖降誕八〇〇年慶讃記念大会が開催予定。

◆昨年十二月十五日に開催され第一三臨時宗会で、新たに宗務総長に中川法政師が決まり、同月二十日には、新宗務内局を発足した。伝道局長に塩田義徹師、総務局長に松永慈弘師、伝道部長に松井大英師、教務部長に北山孝治師、総務部長に大場正昭師、財務部長に木村吉孝師、宗務総長室長に木内隆志師、日蓮宗現代宗教研究所長に三原正資師。日蓮宗新聞社社長に渡邊義生師。(大澤宏明)

◆日蓮聖人門下連合会

●目的 本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を教化することを目的とする。

●事業 本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。

1、祖廟護持の組織強化

2、教育事業の提携

3、布教の連合強化

4、懇談会・研究会・講演会等の開催

5、各種出版物の刊行

6、海外布教の提携及び交流

7、対外的な各種の運動

8、その他

●加盟団体

日蓮宗 法華宗(本門流)

頭本法華宗 法華宗(陣門流)

本門佛立宗 日蓮本宗

法華宗(真門流) 本門法華宗

国柱会 日本山妙満寺

京都門下連合会